

会 議 録

会 議 名	令和3年度東浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会	
開 催 日 時	令和3年8月18日（水） 午後3時から午後5時5分まで	
開 催 場 所	東浦町役場本庁舎3階 合同委員会室（一部、オンライン出席）	
出 席 者	委員	高野雅夫（委員長）、関浩二（副委員長）、中瀬進吾、榊原豪、山本隆明、平野智子、野崎麻里、鈴木真子
	事務局	町長、企画政策部長、企画政策課長、企画政策係長、企画政策課主査、企画政策課主事
議 題 (公開又は非公開の別)	1 第2期東浦町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の進捗状況について 2 検討委員から町に対して提案された要望・意見に関する各課の進捗状況	
非公開の理由 (会議を非公開とした場合)	—	
傍 聴 者 の 数	2名	
審 議 内 容 (概 要)	議題の審議内容は、別紙のとおり	
備 考		

審議内容（概要）

1 町長あいさつ

東浦町まち・ひと・しごと総合戦略は、令和2年度から2期目に入り、計画期間の令和6年度まで1年ごとに評価していく。実績値については、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度を下回るものが多い中、於大公園プレーパーク来園者数やふるさと納税件数については増加しており、読めない状況でもある。令和2年度の実績値は、参考値としてご議論いただきたい。以前いただいたご要望・ご意見については、出来ることはやっていく方向で調整しており、その内容についてもこの場で報告させていただく。

2 議題

(1) 第2期東浦町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の進捗状況について（資料1）

(2) 検討委員から町に対して提案された要望・意見に関する各課の進捗状況（資料2）
事務局より「資料1」及び「資料2」について説明を行った。

主な意見は、以下のとおり

ア 資料1-1、基本目標2の主要施策①について、どのように企業の誘致活動や周知を行っているのか。

⇒ 企業を誘引するための補助金についてPRし、東浦町への立地を検討していただいている。

イ 企業誘致の補助金について、金融機関として協力できることもあると思うので、情報提供をしてほしい。

ウ 遊休地の紹介及び開発支援を行ったとあるが、具体的に事例はあったのか。

⇒ 問い合わせがあった際に、土地の使用状況について説明を行うが、あらかじめ地権者の同意をまとめてPRするようなことはやっていない。

エ 新規就農者数について、令和2年度は3人増えているがどのような事例か。

⇒ 分野は果樹等で、親元への就農が多い状況である。

オ 新規就農の際、農業の内容によって定められている耕作の下限面積について、現状に即した面積基準にしてほしい。

カ 東浦町に工場を進出したいという話を聞くが、土地がないため有効的な土地利用を考えてほしい。また、ウェルネスバレー地区では、医療関係の誘致を検討してほしい。

⇒ ウェルネスバレー地区の誘致については、愛知県企業庁に相談した際に道路整備が必要とのことで、まずは養父森岡線の道路整備から進めている状況である。

キ 資料1-1、基本目標1の主要施策④について、「小1プロブレム」を防ぐため、給食見学や学校紹介を実施したとあるが、今年度も実施するのか。また、町内保育園に通っている園児のみが対象なのか、在住している園児も対象なのか。

⇒ 担当課へ確認し、回答させていただく。

※（回答）例年は各小学校の入学説明会の際に実施しているため、町内の保育園に限定はしていない。ただし、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で、入学説明会の際に実施できなかったため、別途、町内の保育園を対象に実施した。

ク 小学校の休校の影響により、座ってられない子どもが増えたと伺ったが、対策は行っているのか。

⇒ 担当課へ確認し、回答させていただく。

※（回答）小学1年生に関しては、45分の授業を10分から15分で区切り、休憩を取り入れている（スタートプログラム）。また、必要に応じて、生活支援員による補助を行っている。

ケ 絵本の引換率が低いと感じる。

コ 不妊治療の補助について、現在一般不妊治療のみ補助対象となっているが、高度医療の補助があると経済的な後押しになるのでは。

サ 出産後のお母さんのケアが足りていないのではないかと。

シ 妊婦医療費助成人数が目標値に対し、令和2年度実績が大きく下回っている理由は。

⇒ 事業開始が年度末になり、周知期間及び対象者が少なかったためである。今年度については、目標値に近い実績が出るのではないかと考えている。

ス 資料1-2について、東浦駅西側駅前広場等概略検討業務委託はどのような内容か。

⇒ 東浦駅ロータリーの整備方法を検討する調査委託である。

セ 評価の付加価値として、DXの指標を付けたらいいのでは。

ソ 資料1-1、基本目標1の主要政策①について、マッチングアプリの使い方講座等を行ってみてはどうか。

タ コロナ禍でひとり親世帯や外国人への影響が出ていると思うが、彼らの声は、行政に届いていないことが多いので支援できる体制を考えて欲しい。

チ 資料1-3、No.19「東浦町児童扶養手当受給対象者特別給付金」について、支給額が妥当であったか検証すべき。

⇒ ひとり親家庭については、国が一世帯5万円給付し、追加で、町が地方創生臨時交付金を活用して、1万円給付しているものである。

地方創生臨時交付金は、国や県の制度のすき間を、各市町村で補完する形で事業者支援等において活用している。

ツ 東浦町のまちづくりの方針は。

⇒ コンパクトなまちづくり計画及びこれから策定する立地適正化計画に基づき進めていくが、南北の軸は、駅を中心にその周辺整備を進め、東西の軸を、町運行バス「う・ら・ら」でつなげていく。

テ 大雨等によってJR武豊線が遅延や運転見合わせになることがあるため、大府駅や巽ヶ丘駅から東浦高校までの直通バスを通学時間だけでも整備してほしい。

ト 保育園の待機児童0人という数値は、希望に沿わなくても入園できれば0人という数値だと思うが、希望の保育園に入園できなかった人数や兄弟での違う保育園に通っている人数などの数値を公表することで、より子育てしやすいまちになるのでは。

ナ 資料2について、不妊治療の受給者へアンケート調査を行うと記載があるが、受給を受けていない方の声を聞くことで、どの段階で迷っているのかなど分かると思う。

ニ 団地の入れ替りについて研究する学生がおり、町内各地の団地を比較すると、森岡台は入れ替わりが起きているが、石浜団地や東ヶ丘は入れ替わりが少なく、高齢化が進んでいることが分かった。森岡台の入れ替りの理由としては、武豊線を利用せず、大府駅を利用できる利便性の良さや自治会が活発な点が考えられる。

3 町長講評

県内自治体の人口の増減については、よく子育て支援が要因として挙がるが、ほとんどは、名古屋市との交通の利便性で説明がつくと考える。交通の便による人口の増減については、社会増減の話だが、自然増減については別の観点で考えなければならない。

例えば、出会いの支援であれば、現代の若者のトレンドに沿った施策の仕掛けをしなけ

れば、根本的には変わらないと考える。

まちづくりについては、東浦町はもともと国道 366 号線を中心に人口が集積しており、この構造は人口減少が進んだ際に、都市のスポンジ化が起これにくいと推察する。今後も、東浦の良さである、都市と自然のバランスを保ちたい。

午後 5 時 5 分閉会